



特集

- 今夏、市場調査の国際品質管理規格が改定へ！
— ISO (JIS Y) 20252 の認証取得で信頼に足る AI 対応・Fraud 対策を

TOPICS

- JMRA アニュアル・カンファレンス 10月22日開催決定
- 開催報告：公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー 第3回

Vol.101

2026/3/17 配信

このメールが配信される頃には、世界の野球ファンが注目する「ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)」が佳境を迎えていることでしょう。

大会は3月5日に開幕し、準々決勝・準決勝を経て、いよいよ3月18日に決勝戦が行われます。残念ながら侍ジャパンが準決勝で敗退しましたが、決勝の対戦カードが楽しみです。今大会は日本をはじめ、米国やドミニカ共和国、ベネズエラなど強豪国が強力な戦力で臨んでおり、優勝への道のりは決して容易ではありません。世界各国のスター選手が国を背負って戦う姿は、多くの人々の関心を集め、スポーツが持つ共感力や話題性の大きさを改めて感じさせます。こうした社会的な関心の高まりをいかに捉え、生活者の意識や行動の変化として読み解くかは、

マーケティング・リサーチにとっても重要な視点です。今月号でも、JMRA の取り組みとともに最新の業界情報をお届けします。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特集

今夏、市場調査の 国際品質管理規格が改定へ！

今夏、市場調査の国際品質管理規格が改定へ！
ISO (JIS Y) 20252 の認証取得で
信頼に足る AI 対応・Fraud 対策を

2026 年夏、市場調査の国際品質管理規格である ISO 20252 が改定されます。現行の 2019 年版から 7 年ぶりとなる今回の改定は、生成 AI の急速な普及やオンライン調査における Fraud (詐欺) 回答問題の深刻化を背景としており、調査・インサイト産業界の品質管理の努力を後押しする内容になります。

2024 年に P&G 社がオンライン調査の品質問題に強い懸念を表明したことを契機に、米国を中心として ISO 20252 認証取得の動きが急速に広がっています。国際的な動向を受け、日本でも新たな認証取得に向けた取り組みが進みつつあります。

今回の改定では、AI の活用に関する品質管理面の考え方、アクセスパネル構築・利用上の Fraud 対策の強化、情報セキュリティ管理の強化などが重要なポイントとなります。現在進行中の ISO (JIS Y) 20252 改定の概要と、日本での対応の見通しについてご紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

JMRA アニュアル・カンファレンス 2026

2026年10月22日 開催

JMRA アニュアル・カンファレンス 10月22日開催決定

昨秋は、設立 50 周年という節目の年、明治記念館にて開催いたしました「JMRA アニュアル・カンファレンス 2025」に、多くの皆様のご来場・ご協賛を賜り、誠にありがとうございました。

このたび、「JMRA アニュアル・カンファレンス 2026」の開催が正式に決定いたしました。日程は 2026 年 10 月 22 日(木)、会場は、ベルサール渋谷ファースト(2024 年度と同会場)です。マーケティング・リサーチ業界が“探求の主体”として、クライアントや多様なパートナーと協働する未来を共に描く場として、本年も皆様とともに創り上げてまいります。

なお、本年もスポンサー企業の募集を予定しております。正式な募集要項および申込書は 2026 年 3 月末頃の公開を予定しております。ぜひ前向きにご検討賜れますと幸いです。詳細はあらためてご案内申し上げます。

TOPICS

開催報告

公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー

経済統計における理想と現実
～産業関連表の SUT 体系移行の意義～

2026年2月13日(金) 14:00～15:00

開催報告:公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー 第3回

経済統計の理想と現実 ～産業連関表の SUT 体系移行の意義～

GDP や産業連関表は、私たちが経済構造を理解するための基盤となる重要な統計です。本講演では、総務省 統計企画管理官(政策統括官(統計制度担当)付)の植松良和氏より、産業連関表の作成上の課題と、SUT(供給・使用表)体系への移行の意義について解説いただきました。企業会計との違い、サービス分野把握の高度化、そして 2025 年表での全面移行に向けた取り組みまで、統計改革の現在地を整理します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



あなたの
中に未来
がある。

大好評! 第10回

開催報告

AI活用 情報交流会

2026年2月18日(水) 18:30～Zoomにて★参加無料

JMRAインターネット調査品質委員会

開催報告:AI 活用・情報交流会(2026年2月度・第10回)

2026年2月18日、インターネット調査品質委員会の主催による第10回の「AI活用・情報交流会」が開催されました。今回の情報交流会では、日経リサーチの太田氏より、AI エージェント活用の最新動向の紹介と、株式会社 HARVEST 様より、AI の回答品質を向上させるための「データ培養(合成データ)」に関する技術について紹介いただきました。

AI の進化によって、AI は作業の効率化だけではなく、データの解釈も含めたより高度な役割を担えるようになってきています。こうした潮流の中で、「データの品質」が AI のアウトプットの品質を高めるためにより重要になってくるという議論が行われました。

今後もリサーチャー同士の有用な情報交流の場として、定期的を開催をしていきますので、次回以降もご期待ください。

[詳しくはこちら](#)

不定期連載



顧問弁護士が語る 課題を乗り越える法律知識

顧問弁護士が語る課題を乗り越える法律知識

JMRA 顧問弁護士の鈴木先生による、最近の話題についての法的根拠や市場調査における基本的な法律知識をコラム形式で不定期に連載します。

今回は「下請法(下請代金支払遅延等防止法)」が改正されて新たに施行となった「中小受託取引適正化法」(通称:取適法(とりてきほう))についてです。

[詳しくはこちら](#)

連載



JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

今年も猛威をふるうインフルエンザ～インフルエンザの感染・対策に関する意識・行動調査

(2026.3.3 日本インフォメーション(株))

今シーズンのインフルエンザに関する調査記事です。子供の高い感染率や主な感染経路、ワクチン接種の現状を調査。受験生家庭の動向など、最新の流行と対策の実態を分析した内容となっています。

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

今月の注目調査

●推しとスーパーとのコラボの相性に関するアンケート調査

(2026.3.4 (株)アスマーク)

こちらは「推し」とスーパーマーケットとのコラボに関する意識調査の記事です。生活に密着した施設である「スーパーマーケット」に焦点を当て、「最推し」とのコラボレーションに対する期待度や、来店動機への影響度を調査しています。

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

連載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。

今月の注目記事

●なぜ、ハウス食品は“ルウの混ぜ合わせ提案”をしたのか？

顧客体験から価値を再設計した挑戦

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

今月の注目記事

●2026年、リテールメディアはどのような？

平均 ROAS 3,657%を生む「統合ネットワーク」の実力

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内

限定

会員

JMRAにて
プライバシーマークを
取得している事業者

JMRA プライバシーマーク説明会

2026年3月31日(火)

●【限定】JMRA プライバシーマーク説明会

JMRA 会員と JMRA にてプライバシーマークを取得している事業者に限定した説明会です。

JMRA が提供するサンプル規程について解説します。あわせて、JMRA 提供のひな型類の修正点、記録作成時及び申請書作成時の注意点についても説明し、質疑応答の時間を設けます。ご質問は受付時に事前送付いただくことも、当日にご質問いただくことも可能です。

皆様のご参加をお待ちしています。

・日程:2026年3月31日(火) 13:30~15:00

・会場:ハイブリッド

参集型会場:JMRA 研修室

オンライン:Zoom ウェビナー

[詳しくはこちら](#)



マーケティング・リサーチ ベーシックコース
(春季)

2026年5月1日(金)~6月30日(火)

●マーケティング・リサーチ ベーシックコース(2026年5月開講)

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することができるものとなっています。

また、定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしております。

す。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2026年5月1日(金)10:00~6月30日(火)17:00 まで

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

[詳しくはこちら](#)

お知らせ



●10年ぶり東京開催！ Esomar APAC 2026 参加受付中

— 東京で直接、世界のベストプラクティスに学ぼう！

“BEYOND BALANCE(調和のその先へ)”をテーマに、10年ぶりに Esomar APAC (Esomar Asia Pacific Conference) が東京で開催されます。(同時通訳付き)

期間限定「超早割受付」は終了しましたが、Esomar と JMRA とのパートナーシップ契約に基づき、JMRA 会員には 20%の参加費割引が提供されます。お見逃しなく！

・日程:2026年5月27日(水)~29日(金)

・会場:ヒルトン東京お台場(ゆりかもめ「台場駅」直結)

(会場参加のみ、オンライン配信はありません)

・参加費: JMRA 会員(正会員・賛助会員)1,496 ユーロ(非 Esomar 会員の場合)

参考: Esomar 会員は 1,310 ユーロ、

クライアント(調査業務発注者)は 500 ユーロ

生成 AI の波は当業界を含むあらゆる産業にかつてない変革をもたらしています。世界の、そし

てアジア太平洋諸国におけるベストプラクティスに学ぶ絶好の機会です。ぜひ優待価格でご参加ください。申し込み方法の詳細は JMRA 事務局まで。

詳しくはこちら
(外部サイト:Esomar)

●JMRA が後援するイベントのご案内

JMRA では、市場調査業界のドメイン拡張と関連業界とのコラボ促進を目指し、さまざまなイベントへの出展・後援を行っています。

今後も各主催団体と連携し、共同研究発表など、お互いのコンテンツをジョイントしていける場を拡張していく予定です。

Pharma
IT & Digital Health Expo

ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2026 (第7回)
2026年4月21日(火) - 23日(木) 10:00-17:00

【ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポのご案内】

AI(人工知能)、IoT、ビッグデータの分析、モバイル活用など情報・通信分野におけるテクノロジーの進化に伴い、製薬業界においても研究、開発、生産、営業、マーケティングなど様々な部門で最先端のテクノロジーの活用や IT 企業との提携が進んでおり、今後も大きな注目と期待を集めています。

本展は国内唯一の製薬業界に特化した IT イベントとして、研究、開発、製造から商業部門に至るまで製薬業界における IT 活用を推進し、製薬業界のビジネスを発展させるための最先端のテクノロジーを多数ご紹介します。

- ・名称:ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2026(第7回)
- ・日程:2026年4月21日(火)~23日(木) 10:00~17:00
- ・会場:東京ビッグサイト 東8ホール

詳しくはこちら
(外部サイト:インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社)



●マーケティング・テクノロジーフェア 東京 2026 登壇報告

JMRA 和田事務局長は「マーケティング・テクノロジーフェア 東京 2026」に登壇し、「AIとデータで変わるマーケティング・リサーチ: 過去・現在・未来」と題した講演を行いました。

約 60 名の聴衆に対し、リサーチ産業の進化を「過去から現在: マーケティング・リサーチデータ可能性の拡がり」「現在から未来: AI や新しいテクノロジーとの共生」「未来に向けて: テクノロジーの進化と、データ提供者・消費者との関係」という三つの視点から体系的に話しました。

[詳しくはこちら](#)

●4月号は4月21日(火)発行予定です

巻末コラム 小さなオフィスから

「身の丈に合った」という表現があります。アグレッシブに成長を急ぐ言葉ではありませんが、着実な持続可能性を感じさせる言葉です。

一人の人間を考えても、成長期にはできることが増え、自ずと「身の丈」も大きくなります。やがて成長が緩やかになり、衰えを自覚する時もあります。でも、自分の周囲で、成長する誰かが現れるのなら、自身の身の丈が小さくなっていったとしても、喜びはむしろ大きくなるのではないかしらん…。

人も、事業も、産業も、そうした循環の中にあるものかもしれません。

日本マーケティング・リサーチ協会が 51 周年の春を迎えた今、私たちの成長は、いま循環のどのあたりにいるのだろうと、この小さなオフィスから、思いを馳せています。

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元: 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。